



平成 21 年 4 月 27 日

各 位

会社名 株式会社ヤマシナ
 代表者名 代表取締役社長 堀 直 樹
 (コード番号: 5955 大証第 2 部)
 問合せ先 取締役(管理本部担当) 川 瀬 晴 夫
 TEL 075(591)2131

業績予想の修正および期末配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 21 年 2 月 9 日に公表いたしました通期(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)の連結・個別の業績予想および配当予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 平成 21 年 3 月期通期連結業績予想の修正(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

(単位:百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 あたり 当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	5,720	5	1	△150	△1 01
今回修正予想 (B)	5,595	△196	△200	△422	△2 83
増 減 額 (B-A)	△124	△201	△201	△272	△1 82
増 減 率 (%)	△2.2	—	—	△181.5	—
(ご参考) 前期実績(平成 20 年 3 月期)	6,735	91	181	913	5 86

(2) 平成 21 年 3 月期通期個別業績予想の修正(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

(単位:百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 あたり 当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	3,800	5	15	△85	△0 57
今回修正予想 (B)	3,667	△158	△147	△303	△2 04
増 減 額 (B-A)	△132	△163	△162	△218	△1 47
増 減 率 (%)	△3.5	—	—	△257.6	—
(ご参考) 前期実績(平成 20 年 3 月期)	4,454	28	69	778	5 00

(3) 修正の理由

連結業績

(連結業績)

主な取引先である自動車業界、家電業界の低迷により売上高、営業利益、経常利益、当期純利益とも平成21年2月9日に公表致しました通期業績予想を下回る見込みとなりました。

第4四半期連結会計期間におきまして非連結子会社である㈱J-net レンタリース京都および㈱Y's アセットマネジメントの重要性が増したと判断し、連結決算の範囲に含めることと致しました。これによる影響は、売上高、営業利益、経常利益に与える影響は軽微であります。当期純利益で△15百万円となっております。

経常利益の減少額と比較し当期純利益の減少額が大きい主な要因は、投資有価証券の売却損15百万円、偶発損失引当繰入10百万円などによるものであります。

自動車業界、家電業界の業況は、直近の受注状況では3月を底に回復の兆しが見られ、今後、徐々に受注の回復が見込まれるため、更なる営業努力、経費削減、生産効率の向上に鋭意努力する所存でございます。

(個別業績)

個別業績修正の理由につきましても、連結業績で述べた理由と同様でございます。

(*) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後のさまざまな要因によって予想値と異なる可能性があります。

2. 期末配当予想の修正

(1) 配当予想の修正

1株当たり配当金(円)			
基準日	中間期	期末	年間
前回予想 (平成20年5月14日)	0円	0.5円	0.5円
今回修正予想	0円	0円	0円
前期実績 (平成20年3月期)	0円	1円 (普通配当0.5円) (記念配当0.5円)	1円 (普通配当0.5円) (記念配当0.5円)

(2) 配当予想修正の理由

当社では、利益体質の確立、収益力向上による財務体質の強化によって、安定的・継続な利益還元を目指し配当を行うことを基本としております。しかしながら、米国経済危機を発端とした世界的な景気悪化により昨年11月以降、急激に業績が悪化したこと、および当社を取りまく市場環境が依然として不透明であることなどを総合的に勘案し、誠に遺憾ではございますが期末配当を無配とさせていただきたいと存じます。株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、今後の業績回復に向け努力してまいります所存でございます。何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

以上